

令和2年11月24日

市民の皆さまへ

愛媛県の感染警戒期への移行について

今治市長 菅 良二

市民の皆さん、市長の菅良二です。

11月20日から愛媛県では、これまでの「感染縮小期」から「感染警戒期」に警戒レベルが引き上げられました。しかし、この段階では外出自粛要請などは行われません。

全国的に感染者数が急増し、1日の感染者が連日2千人を超え、さらに過去最多を更新しています。また、愛媛県内でも、この3連休、新規感染確認が連日、過去最多を更新するなど、今後の感染の広がりには予断を許さない状況です。

市民の皆さんには、これまでの基本的な感染防止対策に加え、感染回避行動の習慣化にもご協力いただいておりますが、今後は、警戒レベルを一段上げていただき、日常の感染対策のより一層の徹底をお願いいたします。

特に、これから年末年始にかけて、クリスマスやお正月など、大勢が集まる行事、人に会う機会が多くなります。さらには、忘年会や新年会など、飲食や会合も増え、感染リスク、クラスターの発生リスクが高まることも大変、懸念されるところです。

政府の「分科会」の提言では、「感染リスクが高まる5つの場面」として、「飲酒を伴う懇親会等」、「大人数や長時間におよぶ飲食」、「マスクなしでの会話」、「狭い空間での共同生活」、「居場所の切り替わり」が挙げられています。併せて、例えば、飲酒をするのであれば、「少人数・短時間で」、「深酒・はしご酒などはひかえる」など、感染リスクを下げながら会食を楽しむ具体的な工夫などが示されています。

これらの提言を参考に、感染リスクが高まる場面や状況を十分に意識していただき、対人距離の確保、手指消毒、マスクの着用、大声の自粛など、基本的な感染防止対策を徹底して実施ください。特に感染リスクの高まる「不特定多数の人が密集する行事やパーティー等への参加」などは、極力控えていただくようお願いします。

中でも、県内でも家庭内感染が増加傾向にあることを踏まえ、高齢者や基礎疾患をお持ちの方がいらっしゃるご家庭では、次のとおり細心の注意をお願いいたします。

- ① 家庭内でも手指消毒など感染防止対策を徹底すること
- ② 冬場の換気、加湿も忘れずに行うこと
- ③ 食器やタオルを共用しないなど、家庭内での感染リスクに注意を払うことが大切です。

このウイルスとの戦いは希望への挑戦でもあります。力を合わせて、まさに市民一丸でコロナウイルスに立ち向かってまいりましょう。

コロナ禍による地域経済への影響は本当に計り知れません。かつてないほどの苦境に立たされている事業者の皆さんを支援するため、市では、国の制度も含め「いまばりエールプロジェクト」を始動し、さまざまな取り組みを進めているところです。メニューなど何かご相談事がありましたら、遠慮せずに担当部署までご相談いただければと思います。事業者の皆さん、この厳しい試練、共に協力して乗り越えていきましょう。

最後に、市民の皆さんに改めてお願いがあります。感染拡大を防ぐためには、ウイルスを正しく恐れることと、市民の皆さん一人一人の徹底した感染防止対策が何より重要です。繰り返しになりますが、感染回避行動「うつらないよう自己防衛」、「うつさないよう周りに配慮」、「習慣化しよう 3密回避」、この徹底をくれぐれもよろしくお願いいたします。